

# 博物館ノート

## 蒲生家伝来資料

### 「世にも人にも知られたる 老武者」の実像

蒲生源左衛門尉郷成かみげさへもんのかみむらさむらという武将の名をご存知でしょうか。会津若松では、街の中心に今も残る甲賀町かみかへ口郭門くちがらの石垣に、この人の名が刻まれていることで知られています。

豊臣秀吉が全国制覇を成し遂げた際、若松城主となった蒲生氏郷かみげしむねに従い、新たに領地となった守山城・三春城などの城主を任された蒲生家の重臣のひとりです。軍記物には、かずかずの合戦で手柄をたてたことが克明に記されています。また江戸幕府の公式記録で

ある『徳川実記とくがわじき』という書物では、晩年の郷成を「世にも人にも知られたる老武者」と評しています。

こうした書物の世界での郷成像の大きさに比べて、その墓と伝える五輪塔ごりんとうが須賀川の長祿寺ちやうりくじに残されている他は、郷成ゆかりのまとまった資料はこれまでに知られていませんでした。最近、この郷成の家系に伝わった古文書・書籍・武具などの資料十数点が県立博物館に寄贈されました。また、これを契機に蒲生郷成の足跡をたどる調査が現在も進行中です。



若松城甲賀町口郭門の刻銘



火事頭巾



蒲生源左衛門尉郷成あて豊臣秀吉朱印状